

小さな群れ

カトリック美唄教会

2018年6月 No.254

2018年7月1日発行

許し

ナルチゾ神父

私達ヨーロッパ人にとって、日本の「武士道」は珍しく思われます。その中でも特に「仇討ち」が一つの美德とされていることは大変不思議なことです。殺された父の仇討ちをする子供は、勇気と親への愛を示すという解釈は美德といえるのだろうか。

はっきり当時の歴史の法律はわかりませんが、仇討ちをした人を裁いたり、死刑にしたりすることはなかったように聞いています。東洋と西洋の大きな違いがここにもあります。

西洋では神に向かって「私達が人の罪を許すように私の罪も許してください」と祈ります。つまり他人の罪を許す、自分に対して侮辱した人を許すことが、西洋では美德になるわけです。

でも本当に人を許せるのか、あなたの子供を殺した人を心から許せるのかと問われると、私も答えるのに苦労すると思います。

神は愛そのものであり、慈悲そのものですから、人間の罪を許していただけますが、人間は心が小さくて人を許すことができないのではないかと思います。私自身は心から人を許さなければならないという機会がなかったので、自分が本当に人を許せるかどうかわかりません。

あるスペインの神父さまで、上智大学の教授でしたが、彼の子供の頃お父さんがスペインの内乱で殺されたことを話してくれました。

1930年代スペインは右翼と左翼の間で内乱が起き、彼のお父さんはある夜、反対側の人達に妻と子供の目の前で殺害されました。戦争中に起こったことなので、裁判等は一切なかったそうです。



彼は父を殺した人達の顔をはっきり覚えてしまったので、決して忘れることができなかつたそうです。しかしお母さんは、子供の心の中に憎しみを育てるよりも、許しを育てるために、お父さんを殺した人のためにも祈りましょう、と毎晩の祈りの中に必ず加えていたそうです。子供達は復しゅうするよりも、お父さんを殺した人のために祈るよう育てられました。

”昔の人は歯には歯を、目には目を、と教えてきたが、私は云う、あなたがたの敵のために祈りなさい。それで、あなたがたは神の子となる”

人間として許すことができないから神の子として許すことができると云われました。

主日ミサの予定

先読は東さんです。7月は司祭のための祈りをします。P26

日	曜	ミサ		朗読奉仕		その他事項
		主日・祭日	時間			
1	日	年間第13主日	午前11:00	第1:坂本 第2:河野	答唱:大城 共同祈願:河野	ミサ後 運営委員会
8	日	年間第14主日	午前11:00	第1:小川 第2:蓮井	答唱:三間 共同祈願:蓮井	
15	日	年間第15主日	午前11:00	第1:大城 第2:小川	答唱:東 共同祈願:小川	
22	日	年間第16主日	午前11:00	第1:吉田 第2:村田	答唱:建部 共同祈願:村田	宣司教空知ブロック会議 砂川教会にてPM2:00から
29	日	年間第17主日	午前11:00	第1:吉村 第2:三間	答唱:東 共同祈願:三間	

《 平日のミサ 》 金曜日のみ 午前10:30 6日(午前9時)、13日、20日、27日
 《 聖書を親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。
 《 ロザリオの祈り 》 20日(水) 午後6:00より 聖堂

霊名の祝日			清掃当番
1日	ペトロ岐部 菅野 雄太郎	11日	ベネディクト 河野 二郎
3日	トマス 河野 博美、小川 昇	16日	カルメル山のマリア 谷 由美子
			【第2週】板垣
			【第4週】葛西、三間

6日 マリアゴレッテ 岡 由紀子	26日 アンナ 菅野 日葵、州之内京子	
------------------	---------------------	--